

令和4年度 第1回宇美町総合戦略推進懇談会

次 第

日時：令和4年5月13日（金）14時から

会場：宇美町役場 2階 大会議室（右）

1 開会

2 本部長あいさつ

3 委員紹介

4 議題

① 第2期宇美町総合戦略の実施期間短縮に伴う目標値の変更について

② 第2期宇美町総合戦略（令和2年度～令和3年度）の評価・検証について

5 その他

6 閉会

令和4年度 第1回宇美町総合戦略推進懇談会 委員からの意見

令和4年5月13日（金曜日）
14時00分～16時00分
宇美町役場 2階
大会議室（右）

（出席者）

委員：合屋昭輝、藤木泰、安川一馬、清原幸治、石藏正二郎、白水英至、村田守清、川上利香

本部長：原田和幸

事務局：太田課長、浦本課長補佐、飯野係長、阿部主査、小野主査

委員からの意見

総合戦略全体

- ・毎回報告を受けているが、糟屋郡で当町だけ人口が伸びていないのは取組不足なのではないか。伸びていない理由を追求し、今回の戦略で目標を達成させる気概で取り組んでもらいたい。
- ・成果を図る数値目標について行政内の評価だけではなく、町民が評価していくことが必要。
- ・人口は増えてはいるが、生産年齢人口が減っていて老年人口が増えていることが問題だ。生産年齢人口を増やすべきではないか
- ・総合戦略の実現に向けて責任をもって実行していく特別チームが必要なのではないか
- ・歳入を増やす方法を考えるにあたり、すべての事業を行うのではなく施策をピックアップしておこなってはどうか
- ・宇美町の特色あるものをPRするため、自主財源を特色あるものに使っていったらどうか

数値目標としている町民アンケートについて

- ・アンケートの回答をしている方（＝少なくとも町に関心がある方）の「愛着がある」で60%はとてもシビアだと思う。回答していない方も含めた町民全体数からだともっと少なくなる。このパーセンテージを上げていくことが重要であるし、もっとシビアに調査すべき内容。
- ・愛着を超えて「ほかの人に推奨できる」というのが重要

インフラ整備関連

- ・道路渋滞の解消、都市計画道路の整備が当町ですすんでいないように感じる
（特に志免宇美線や宇美西口の交差点）
- ・町の中心部の景観が50～60年変わっていないのは道路の影響なのか、町の特性なのかかわからないがもっと活性化してもよいのでは

企業誘致 働く場の創出

- ・若い人が就業できるよう企業誘致を進めてほしい
- ・企業誘致は正直難しいので、教育機関（大学・専門学校）の誘致に力を入れてはどうか
若い人も増えるし、それに伴ってJRやバスの本数がふえるのではないか
- ・インフラ整備を待っていたら、いつまでも活性化は難しいし、大企業の誘致も時間がかかる。
福岡市でやっているようなスタートアップ事業など将来を見据えた起業家向けの優遇施策も考えてはどうか

安心安全関連

- ・ 駅前に交番を移転する話は進んでいるのだろうか
- ・ 当町はコミュニティ活動が活発なので強みだと思う
- ・ 軽犯罪が減っているとの報告を受けたのは非常に良いと思う
- ・ コミュニティで夜間巡回もしているので成果がでているのではないかな。

子育て分野関連

- ・ 必要な方に情報が届くよう、また、遊んでいる場所やよくなっていることについて情報発信に もっと力をいれてはどうか
- ・ 予期せぬ妊娠をした方の相談・支援や障がいのある子どもへの理解など、一人一人によりそう 本当の意味で子育てしやすいまちづくりを
- ・ 若年者の体力低下が心配なので、置かれている状況によらず体力がつくような取り組みを

移住定住関連

- ・ 当町は糟屋郡の他の自治体と比べるとまだ空き地があるので伸びしろを感じる。「子育てのまち」 など若い世代が転入したくなる施策で全国から若い世代の転入を促してはどうか？
- ・ 町内の3中学の卒業生のほとんどが進学しているが、中学校への通学と異なり、親が宇美駅まで送迎をする必要がある学生が多い。不便さを感じ、大学進学時や就職時に町に戻ってくることはないのでないかと思う。住み続ける魅力が必要なのでは
- ・ 志免町に住んでいるが宇美町にとっても魅力を感じている。伸びしろもあると思う。
- ・ 福津市の例などきっかけがあれば現状から大きな変化があるのでは
- ・ 宇美町は観光資源等にも恵まれ、とてもポテンシャルの高い町だと思う。
- ・ 宇美町の人々が宇美町の土地を欲しがっているし、町外の方も注目している。

その他

- ・ 役場と民間では得意とする分野が違うため、お金を出してでも民間が得意な部分は民間や大学を頼っていいのでは
- ・ 銀行は多くの企業と接点があるため、何か課題に感じることは相談してもらえたら、得意とする企業につなぐこともできる
- ・ 産官学の連携
- ・ 職員が営業マンとなって町の収入を上げる方法を考えなければならない。